

# 2025 度（令和 7 度）幼稚園教育計画書

園番（27）福山市立緑丘幼稚園

園長名 安部 恵子 印

## （教育目標）

「心豊かにともに伸びる“たくましいこども”の育成」

- ・やさしい子（友だちの気持ちを受け止められる子）
- ・考える子（自分の思いを伝え、友だちと一緒に考えられる子）
- ・粘り強い子（自己肯定感をもち、目標をもって取り組める子）

## （教育目標設定の理由）

本園は、創立 50 周年を迎える。市中心部から離れた東部に位置し、商業施設や住宅が増え、人口の流入が激しい地域である。一昨年度より 3 年保育がスタートし、保護者・地域の期待は高く、校区外からの入園園児も多い。しかし、年々少子化と働く保護者の増加で、園児数は減少している。

コロナ禍があけ、日常が戻り、PTA 活動や懇談等の関わりの中で、保護者の関係が少しずつ構築されつつある。しかし、保護者の価値観は多様化し、こどもに気を遣いながら接し、こども主体をはき違えている保護者や支援が必要な保護者がいる。

こども達は、友達や異年齢、1 年生との関わりが日常的に行われようになり、友達大好き・遊ぶことが大好きなこどもが増えてきた。また、自信をつけてくるとあいさつが自分から出来る子も増えてきた。

しかし、近年社会状況が一変し、こどもの遊びや文化も大きく変容し、ゲーム・ユーチューブ等 ICT 機器を使って遊んでいる子が増加し、興味関心の幅が広がっている。また、こどもの実態や育ちも多様化し、共通の話題が持たなくなりつつある。療育に並行通園する等 支援を要する子も多い。人と関わる経験や色々な経験不足、こだわりから、不安感が強く、初めからできないとあきらめたり、チャレンジしたりしようとならない子が多い。また、自分を表出できる子が増えてきているものの、人の話を最後まで聞いたり、理解し咀嚼して自分で考えたりする力は弱い。

このような実態から、保育者はこども理解に努め、こども一人一人を丸ごと受け止め、安心して園生活を楽しめるようにする。そして、人との関わりや自然とのふれあいなどリアルで豊かな感動体験を積み重ねながら、自信をつけさせ、教育目標に迫っていききたい。

## （教育指導の重点）

- ① 一人一人が自信をもって自己表現できる子を育てるために
  - ・一人一人が自分を安心して表出できる関係を保育者とつくる。
  - ・個の実態や育ちを丁寧に見取り、小さな成功体験を積み重ねながら自己充実を図る。
  - ・互いの違いを受け止め、認め合い、応援し合える集団づくりをする。
  - ・専門家を招聘したり、多面的な幼児理解に努めたりする等 園内研修の充実を図る。
- ② 直接体験を大切にしたい感動ある保育実践をするために
  - ・こどもの声に耳を傾け、こどもが「やってみたい」「もっと～したい」と興味・関心を高め、遊びが持続・発展するような保育内容や環境を充実する。
  - ・幼児の体力（身体力）・耐力（さまざまな困難に耐え打ち勝つ力）・対力（人と関わる対応力）を育てる保育内容の工夫をする。
  - ・こどもの実態やねらいをもとに感動体験、直接体験、試行錯誤できる環境の充実を図り、心を動かし、思わず声を出すような環境をつくる。
- ③ 保護者や地域の人とのつながりを大切にするために
  - ・保護者や関係機関との丁寧な連携を通して信頼関係を築き、子育てについて共に考える。
  - ・PTA 活動や地域行事への参加を通して、保護者同士がつながり、子育ての楽しさや喜びを実感する機会や場を工夫する。
  - ・幼保小連携・接続の充実を通して、育ちと学び・人をつなげる。

## （研究テーマ）

心を動かし、互いに育ち合う幼児を育てる  
～認め合う、つながり合う保育を目指して～

## （研究公開計画）